

第15期

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

貸借対照表および損益計算書

平成25年6月18日

愛媛県松山市高浜町5丁目2259番地1

松山観光港ターミナル株式会社

代表取締役社長 一色昭造

貸借対照表

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	274,005,113	流 動 負 債	40,379,711
現金及び預金	261,621,128	未払金	13,690,752
売掛金	4,447,235	1 年以内返済予定長期借入金	20,000,000
商品・貯蔵品	2,983,275	未払法人税等	1,550,800
前払費用	2,415,447	未払消費税等	1,287,500
その他の流動資産	2,538,028	賞与引当金	699,768
		その他の流動負債	3,150,891
固 定 資 産	458,782,583	固 定 負 債	46,384,066
有形固定資産	456,706,043	長期借入金	30,000,000
建物	449,372,452	長期預り金	10,799,010
機械装置	6,230,250	退職給付引当金	2,565,056
器具備品	1,103,341	役員退職慰労引当金	3,020,000
無形固定資産	272,974	負債合計	86,763,777
ソフトウェア	54,574	(純資産の部)	
電話加入権	218,400	株 主 資 本	646,023,919
投資その他の資産	1,803,566	資本金	600,000,000
長期前払費用	1,803,566	利益剰余金	46,023,919
		その他利益剰余金	46,023,919
		繰越利益剰余金	46,023,919
		純資産合計	646,023,919
資産合計	732,787,696	負債・純資産合計	732,787,696

損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 売上高		136,717,189
II 売上原価		84,789,766
売上総利益		51,927,423
III 販売費及び一般管理費		44,953,586
営業利益		6,973,837
IV 営業外収益		
受取利息	453,163	
雑収入	5,720	458,883
V 営業外費用		
雑損失	1,463	1,463
経常利益		7,431,257
VI 特別損失		
固定資産除却損	3,666,806	
棚卸資産廃棄損	612,122	4,278,928
税引前当期純利益		3,152,329
法人税, 住民税及び事業税		1,819,429
当期純利益		1,332,900

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっております。

(リース資産を除く)

無形固定資産 定額法によっております。

(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

リース資産 該当はありません。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金算定基準に基づく事業年度末要支給額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

建物 435,772,575 円

② 担保に係る債務

短期借入金 20,000,000 円

長期借入金 30,000,000 円

計 50,000,000 円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 396,377,458 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の総数 普通株式 12,000 株

4. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社の資金運用は、短期的な預金に限定し、資金調達は、銀行借入による方針です。

売掛債権の貸貸先与信管理については、個別管理方針に基づき管理しております。すべての債権は1ヶ月以内の入金期日であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

項 目	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1)現金及び預金	261,621,128	261,621,128	—
(2)売掛金	4,447,235	4,447,235	—
資産合計	266,068,363	266,068,363	—
(1)未払金	13,690,752	13,690,752	—
(2)長期借入金	50,000,000	49,907,734	92,266
(3)長期預り金	13,614,010	9,694,496	3,919,514
負債合計	77,304,762	73,292,982	4,011,780

(注) 金融商品の時価の算定方法

1. 現金及び預金、並びに売掛金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2. 未払金

これは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

3. 長期借入金

これは、全て、株式会社日本政策投資銀行からの無利息借入であるので、時価の算定は、返済額の将来キャッシュフローを国債の利回りを基礎に割引いた現在価値により算定しております。

4. 長期預り金

これは、全て、テナントからの預り敷金であり、賃貸契約期間の定めがないものであるため、当社の建物の残存耐用年数相当の国債利回りを基礎に割引いた現在価値により算定しております。

5. 長期借入金（1年以内返済予定長期借入金を含む）の決算日後の返済予定額

(単位：円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内
長期借入金	20,000,000	20,000,000	10,000,000

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金、役員退職慰労引当金、賞与引当金、未払事業税等ではありますが、来期以降は、当社の収益性は悪化することが見込まれ、その回収可能性はないものと判断しております。繰延税金資産から控除した評価性引当額は、2,916,060円であります。

6. 資産除去債務に関する注記

当社は愛媛県から港湾施設の占有許可を得て、賃貸不動産を取得し賃貸しており、当該施設の撤去時において原状回復にかかる債務を有しております。現時点では、かかる債務に関連する賃貸施設の使用期間が明確ではなく、撤去も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

7. 賃貸等不動産に関する注記

(1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社は主要な事業として当社が所有する旅客ターミナルビルの賃貸を行っております。

平成25年3月期における賃貸損益は51,872,964円であります。

(2) 賃貸等不動産の時価等に関する事項

(単位：円)

貸借対照表計上額	当期末時価
443,066,159	707,864,000

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。
2. 当期増減高のうち重要なものはありません。
3. 当期末時価は「不動産鑑定基準」に準じた方法により自社で算定した金額であります。

8. 関連当事者との取引に関する注記

主要株主

名称：愛媛県（総株主の議決権の総数に占める所有議決権の数の割合 42.7%）

取引内容：指定管理者として県有施設の管理受託

取引金額：管理受託費 27,332,381円（消費税等を含んでおりません）

取引条件及び取引条件の決定方針：愛媛県の指定管理者決定方針に基づき、入札に応募する方法によっております。

期末残高：取引により発生した債権または債務の期末残高はありません。

9. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 53,835円 32銭
(2) 1株当たり当期純利益 111円 7銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。